

バルーンフェスティバル

40年の足跡

1980年(昭和55年)

(第7回)80熱気球フェスティバル



参加機数 35 機。地元からアースウイング号が初参加。

1981年(昭和56年)

(第8回)81熱気球フェスティバル

参加機数 37 機。

1982年(昭和57年)

第1回上士幌ウィンターバルーンフェスティバル

(第9回)82熱気球フェスティバル

参加機数 38 機。

1983年(昭和58年)

(第10回)83熱気球フェスティバル



第10回記念大会として「とんでるカントリー」を開催し有名タレントが来町。参加機数は39機を数え、町民はお祭り騒ぎの4日間を過ごすこととなった。

1984年(昭和59年)

(第11回)84熱気球フェスティバル

参加機数 45 機。

1985年(昭和60年)

(第12回)85熱気球フェスティバル

参加機数 47 機。

1986年(昭和61年)

(第13回)86国際バルーンフェスティバル

参加機数 56 機。

1987年(昭和62年)

(第14回)87国際バルーンフェスティバル

参加機数 52 機。

1988年(昭和63年)

熱気球観光公社設立

(第15回)88国際バルーンフェスティバル

参加機数 66 機。

1973年(昭和48年)

日本気球連盟発足

日本熱気球連盟が発足し、同年11月及び翌年7月に上士幌町と交流。

1974年(昭和49年)

(第1回)74熱気球フェスティバル



日本初の熱気球イベントとして開催され、5機の熱気球が参加。大空を風まかせに遊泳するカラフルな気球に住民は魅了された。(写真は左から「ティンカーベルⅢ」「風」「アセンションⅡ」「龍馬」)

1975年(昭和50年)

(第2回)75熱気球フェスティバル

参加機数 6 機。

1976年(昭和51年)

(第3回)76熱気球フェスティバル



14機が参加し、日本初の熱気球による競技会が行われた。

1977年(昭和52年)

(第4回)77熱気球フェスティバル

参加機数 16 機。

1978年(昭和53年)

(第5回)78熱気球フェスティバル



参加機数 25 機。この頃には町挙げての大イベントとなり、歓迎パレードも行なった。

1979年(昭和54年)

(第6回)79熱気球フェスティバル

参加機数 32 機。

1974年に第1回熱気球フェスティバルが開催されて、今年で40年。町で所有している過去の写真を掘り起こし、この40年の足跡を改めて辿ってみました。

2004年(平成16年)

第31回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 42機。

2005年(平成17年)

第32回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 33機。

2006年(平成18年)

第33回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 32機。

2007年(平成19年)

第34回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 39機。

2008年(平成20年)

第35回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 36機。

2009年(平成21年)

第36回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 36機。

2010年(平成22年)

第37回北海道バルーンフェスティバル
(中止)

同年に宮崎県で発生した口蹄疫の影響を鑑み、大会を自粛するという苦渋の決断となった。

2011年(平成23年)

第38回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 27機。新オフィシャルバルーン「上土幌Ⅲ号」とゆるキャラ「ほろんちゃん」がデビューした。

2012年(平成24年)

第39回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 31機。

第40回北海道バルーン
フェスティバル会場にて

バルーン
ポスター展を開催!

40年の歴史を感じさせる
ポスターの数々をぜひ
ご覧ください。

1996年(平成8年)

第23回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 76機。上土幌号が最後のフライトとなり、「上土幌Ⅱ号」に更新された。

1997年(平成9年)

第24回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 84機。

1998年(平成10年)

第25回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 48機。

1999年(平成11年)

第26回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 54機。

2000年(平成12年)

第27回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 52機。ハイスクールⅡ号がこの年登場。

2001年(平成13年)

第28回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 38機。

2002年(平成14年)

第29回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 47機。

2003年(平成15年)

第30回北海道バルーンフェスティバル



新しいオフィシャルバルーンとして「ハロースマイルファミリー号」がこの年登場し、参加機数は55機に上った。ただ、最終日の10日には集中豪雨により町内で災害が発生するなど、多事多難な大会となった。

1989年(平成元年)

(第16回)89北海道バルーンフェスティバル



この年から名称が北海道バルーンフェスティバルとなり、名実ともに北海道を代表するイベントに。参加機数は44機を数え、町のオフィシャルバルーンとして「上土幌号」がお目見えした。

1990年(平成2年)

航空公園が三カ年事業で着工

第6回熱気球日本選手権

第17回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 43機。

1991年(平成3年)

第18回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 51機。

1992年(平成4年)

第19回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 72機。

1993年(平成5年)

第20回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 69機。この年に待望の熱気球基地の航空公園が完成。

1994年(平成6年)

第21回北海道バルーンフェスティバル



参加機数は87機を数え、歴代の大会の中でも最大規模のイベントとなった。

1995年(平成7年)

第22回北海道バルーンフェスティバル
参加機数 70機。着ぐるみのバルーン君とふわふわドームのエアキッドバルーン君がこの年デビュー。